

図書館の新機能紹介

アナ： 「市長が語る2023三島」第13回の今日は、「図書館の新機能」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 昨年、図書館に新しい機能が導入されたということですが、何が変わったのでしょうか。

市長： 昨年12月にシステムの更新を行い、国の「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を活用し、主に3つの機能を導入しました。

アナ： 3つの機能のうち、1つ目はどのようなものなのでしょうか。

市長： まずは、本の自動貸出機と自動返却機です。

今まではカウンターの職員が、バーコードを1冊ずつ読み取って貸出や返却の手続きをしていましたが、新しいシステムでは、本に貼ったICタグを機械で一度に読み取ることができるようになりました。

アナ： なるほど、具体的にはどのように使うのでしょうか。

市長： 自動貸出機は、図書館本館・中郷分館の2箇所にあります。セルフレジのように、本を借りる方がご自身で機械を操作して手続きができます。

ボードの上に本を置いて、冊数を入力し、貸出カードを読み取り装置にかざすだけの簡単な操作で手続きが完了します。

自動返却機は図書館本館にございまして、借りた本や雑誌を返却口に入れるだけで機械がタグを読み取り、返却手続きができますので、こちらも簡単です。

どちらもカウンターの職員を介さずに手続きができるようになったので、大変便利になりました。

また、借りる本や雑誌を見られたくないという方でも、気兼ねなく借りられるようになっております。

アナ： それはとても便利ですね。利用されている方の反応はいかがですか。

市長： 導入当初は、操作の仕方に迷われるケースもありましたが、現在では、多くの方に自動貸出機・返却機をご利用いただいております。

ご利用された方からは、「便利になった」といった感想をいただいております。

アナ： それは素晴らしいですね。次に、2つ目の機能について教えてください。

市長： 次の新機能は、座席管理システムです。

こちらは、図書館本館2階の視聴覚コーナーにある学習室やパソコン持込席を利用する時に使います。

これまでは、カウンターの職員に貸出カードを提示し、番号札をお受け取りになった上でご利用いただいておりますが、新しい管理システムでは、ご自身で機械を操作して席を確保できるようになりました。

加えて、学習室につきましては、三島市に在住・在勤・在学の方は、図書館のホームページからも席の予約が可能になりましたので、来館される前に、席を確保しておくこともできます。

アナ： これも便利になりましたね。最後に、3つ目の機能をご紹介します。

市長： 3つ目にご紹介する新機能は、デジタルアーカイブです。

デジタルアーカイブとは、「ふるさと三島」や「田方タイムス」など、図書館が独自にデジタル化した貴重な地域資料のことでありまして、それらを図書館のホームページで公開いたしております。

パソコンやスマートフォンなどから、本をめくるようにしてデジタル化された資料を見ることができますので、ご自宅や出先ですぐにご覧いただけます。

アナ： ご自宅でも図書館の資料が見られるのは、とても便利ですね。

市長： はい、遠方の方でも三島の地域資料をご覧いただけるようになりましたので、例えば、今すぐに三島の歴史について詳しく知りたいといった時などに活用していただけます。

なお、これらの新機能につきましては、みしまるくん・みしまるちゃんと一緒に使い方をご紹介した動画も公開中でありまして、図書館のホームページからご覧いただくことができます。

本日ご紹介いたしました新機能によって、ますます便利になりました図書館をお役立ていただければ幸いです。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。